

入試分析 英語

【出題内容】〔全23問 1問4点(大問2の3(2)のみ12点)〕

設問数・形式・配点に変更なし。文法の独立問題は出題されず、読解問題が中心なのは例年通り。リスニング、図表を絡めた複合問題(対話文・Eメール・条件英作文)、対話文読解、物語文読解の計4題。

1 リスニング問題〔全5問 1問4点 計20点〕

短い会話文の3問と、スピーチの2問という形式は昨年と同じ。1回目であらずじと問題、2回目で解答となる内容を聞き取り必ず全問正解したい。難易度は高くないものの音声のスピードはかなり速いので、秋以降に開講するリスニング講座や過去問で耳を慣らしておきたい。

2 図表を絡めた複合問題〔全4問 英作文のみ12点、他1問4点 計24点〕

形式・難易度とも例年通り。図表と会話文の問題は難しくない。条件英作文は「最近自分が感動したこと」を紹介する問題。そもそも“a thing that moved my heart recently”を読み取れないと始まらない。例えば「映画」を題材にするなら、「いつ見たのか」「どんな内容なのか」「何に感動したのか」などを的確に英語で表現する力が必要。断片的な英文ではなくストーリー性のある英文を書くには、英語で日記をつけてみるのも効果的だろう。

3 対話文読解〔全7問 1問4点 計28点〕

形式は例年通りで難易度も平易。登場人物の発言の真意や理由を問うものが5題、全体的な内容に関する問題が2題。前者の5題にはすべて下線が施されており、基本的には指示語の指す内容が分かればよい。後者の2題も単純な設問。話の展開も“悩んだら友人に相談すべし”というオーソドックスなものなものの。

4 物語文読解〔全7問 1問4点 計28点〕

形式・難易度とも例年通り。下線部内「do that」の具体的な内容を問う問題、本文の流れに合うように選択肢を並べ替える問題が1題ずつと、本文の内容に関する問題が計5題。大問3と異なり、本文に下線が施されている問題は1題しかないため、全体を読み終えてから設問を見るのではなく、予め設問の場面を頭に入れてから本文を読み進め、その場面に差し掛かったらその都度解いていくことで時短を図りたい。

実際の問題にチャレンジ! 大問2 自由英作文問題

注) I'll tell you about a thing that moved my heart recently.に続く部分が空所になっており、そこを英文3文で記述する。

条件①前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること。

条件②伝えたい内容を一つ取り上げ、それを取り上げた理由などを含めること。

解答例

I went to a museum to see famous pictures painted by my favorite artist.

Later, I saw those pictures in a book in an art class.

The pictures I saw in the museum looked more beautiful than the pictures in the books.

訳) 私は自分のお気に入りの画家の描いた有名な絵を見に美術館に行きました。後に美術の授業でそれらの絵を本で見ました。本の中の絵よりも、私が博物館で見た絵の方が美しく見えました。